

留 学 報 告 書

記入日:2016年8月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	マレーシア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マレーシア科学大学 現地言語:
留学期間	2015年9月～2016年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年6月16日
明治大学卒業予定年	2017年4月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月～1月 2学期:2月～6月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約3万人
創立年	1969年

留学費用項目	現地通貨(リンギット)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	5500	140000円	
食費	5000	127000円	
図書費	100	2540円	
学用品費	100	2540円	
教養娯楽費	600	15250円	楽器代、本代
被服費	1200	30500円	
医療費	0	0円	
保険費	3500	89000円	形態:海外旅行保険
渡航旅費	6070	154500円	
雑費	4800	122000円	
その他	760	19310円	携帯電話代(本体代含む)
その他	25515	650000円	旅行費
その他		円	
合計	53145	1352640円	

渡航関連

渡航経路:羽田空港—チャンギ国際空港—ペナン国際空港

渡航費用

チケットの種類	
往路	67,730 円
復路	86,770 円
合計	154,500 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路の航空券は JTB 経由、復路はシンガポール航空の WEB サイトを通して購入しました。ガイドブックは地球の歩き方とるぶの 2 冊を持っていきました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

Condominium (日本でいうマンションのような建物)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3)住居を探した方法:

マレーシアの国際教育事務室から住居を管理している人を紹介され、メールのやり取りを通して住居を決めます。その際、ルームシェアする人数や国籍などの希望が聞かれます。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の場合、大学寮への抽選に外れてしまったので学外にある Condominium を日本人 2 人とシェアしていました。個室が 3 部屋、キッチン、リビング、バスルームと揃っていたので快適に過ごせました。家は 23 階にあったので、景色も良かったです。マイナスポイントとしては、大学まで 20 分ほど歩かなければいけないところです。交通量が多いので慣れるまでは大変です。

大学寮の家賃がとても安く魅力に感じていましたが、実際に見たり住んでいる人の話を聞くと、Condominium に住んで良かったと心の底から思いました。寮に住んでいた人が Condominium 引っ越すというケースがいくつかありました。寮の場合、相部屋で冷房設備は天井のファンだけです。キッチンもありません。建物や家具もとても古いです。日本とは全く異なった衛生環境の中で住むことになります。しかし、良い点もちろんあります。学生と交流しやすい環境と家賃の安さです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: インドネシアに旅行をした際に食中毒にあいました。マレーシアに帰国後、加入していた保険会社に連絡をとり提携先の病院を紹介してもらいました。その病院には日本語通訳者がいたので、スムーズに受診することができました。薬を 4 種類ほど処方され、すぐに回復しました。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International office の人や、Buddies と呼ばれる現地の学生による留学生のサポート団体に相談すれば親身に話を聞いてくれます。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在ペナン総領事館から届くメールや大学の Facebook ページを参考にしていました。

私は危険な目に一度も合いませんでしたが、夜の一人歩きはなるべく避けた方が良いと思います。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の wifi は接続が不安定で、場所や日時によって状況が変化します。日本と比べると速度はかなり遅いです。wifi が使えるお店もあまりありません。家で契約していたインターネット回線も接続が不安定でした。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設しました。大学の敷地内にある銀行で行うことができます。

日本円を持ってくることをおすすめします。旅行の際に、リンギットを両替してくれない国もあるので。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

近くにイオンとダイソーがあるので大体のものは揃います。しかし、レターセットがなぜか見つかりませんでした。なので、手紙を書く予定がある人は日本から持ってきた方が良いです。また、浴衣も余裕があれば持ってくることをおすすめします。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
マイナビ国際派就職 EXPO、東京キャリアフォーラム
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
重電メーカー 社会インフラに関わる仕事をしたかったため、その事業に強みを持つ企業を選びました。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学中に就職活動の解禁が 6 月になったことを知り大変驚きましたが、留学に専念したことから留学中は特に就職活動をしませんでした。その分帰国してからすぐに就職活動を始め、1 か月という短期間で終わることができました。私は、留学生向けのキャリアフォーラム(マイナビ国際派就職、東京キャリアフォーラム)に参加し、その中で興味のある企業を見つけ内定を頂くことができました。就職活動を通して感じたのは、マレーシア留学が大きな武器になるということでした。留学経験者は大勢いますが、留学先として東南アジア、マレーシアを選ぶ人は減多にいません。なので、面接官が非常に興味を持ってくれます。また、多くの企業が海外進出、中でもアジア市場の開拓に意欲があるため、アジア圏での留学経験がある人の採用に積極的であるように感じました。帰国後すぐに就職活動を始められるように、サイトの登録や自己分析などをあらかじめしておくことをおすすめします。私の場合、すでに内定をもっている友人がいたので、対策やアドバイスなどを聞きました。スタートが皆より遅れる分、友人からたくさんの情報を得ることができました。実際に就職活動を経験した生の声はとても役に立ちます。周りの人からの協力も得つつ、自分のペースで就職活動を行えば大丈夫だと思います。企業側もグローバルな人材の採用のために、長期間採用活動を続けているところがあります。なので、留学中は留学中にしかできないことに専念し、たくさん思い出を作ってください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
22 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Major themes in selected world religions	世界の宗教
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	1 セメスター
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 3 回
担当教授	Muhammad Azizan Sabjan
授業内容	ヒンドゥー教、仏教、イスラム教など世界にある宗教の成り立ちや概念を学びます。
試験・課題など	レポートと期末試験
感想を自由記入	ショッキングな映像を見せられることがあります。なので、苦手な人にはおすすめできません。しかし、マレーシアという多宗教国家に暮らす上で、宗教に対する知識を持つことが必要であると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Bahasa Malaysia I & II		マレー語	
科目設置学部・研究科	Language		
履修期間	2 セメスター		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 2 回		
担当教授	Puan Nida / Puan Mariyani Mahamud		
授業内容	マレー語を基礎から学びます。		
試験・課題など	中間試験と期末試験。スピーキングのテストあり。		
感想を自由記入	マレー語は比較的簡単な言語です。文法も発音も難しくはありません。授業で習うことはすぐに実践できるような内容なので、生活をするうえで無駄にはなりません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Malaysian studies		マレーシアの歴史	
科目設置学部・研究科	Social Science		
履修期間	1 セメスター		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 1 回		
担当教授	Azeem Fazwan Ahmad Farouk		
授業内容	マレーシアの歴史		
試験・課題など	フィールドワークあり。期末試験のみ。		
感想を自由記入	はっきり言ってこの授業はあまりおすすめできません。休講が多かったり、内容も繰り返したもので教授にやる気を感じません。単位がとりやすいことだけが利点です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Politics and Regionalism in ASEAN		ASEANにおける政治と地域主義	
科目設置学部・研究科	Social Sciences		
履修期間	1 セメスター		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Siti Zuliha Razali		
授業内容	ASEAN とは何か、その役割と成立背景などについて。		
試験・課題など	グループ発表、レポート。期末試験。		
感想を自由記入	マレー訛りの強い英語を話す先生だったので、慣れるまでに時間がかかりました。文献を大量に読まなければいけなかったので苦労しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Asian thought: Indian, Chinese and Japanese		アジア思想	
科目設置学部・研究科	Humanities		
履修期間	1 セメスター		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Peter Gan Chong Beng		

授業内容	インド、中国、日本における哲学
試験・課題など	プレゼンテーション、レポート、期末試験。
感想を自由記入	テーマによって教授が交代します。聞き慣れない単語が多いので辞書を手元に置く必要がありました。日本のことを英語で学ぶ良い機会でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Chinese I		中国語	
科目設置学部・研究科	Language		
履修期間	1 セメスター		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が2回		
担当教授	Eng Ming Yuan		
授業内容	中国語の初級		
試験・課題など	スピーキング・リスニングテスト。中間試験、期末試験。		
感想を自由記入	ピンインを中心にして中国語を勉強しました。授業はゆっくり進むので、とても理解しやすかったです。漢字ができる日本人からしたらやや物足りないかもしれません。		



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	TOEFL ibt 対策
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	TOEFL ibt 受験
2015年 1月～3月	派遣先決定
4月～7月	書類作成・提出 健康診断
8月～9月	8月 下旬に出国 9月 セメスター1 開始 【イベント】Food Festa 日本人チームとして日本食を提供
10月～12月	10月 ヘイズという大気汚染で度々学校が休みになる 【イベント】インドネシアカルチュラルナイト オクトーバーフェス 11月 中間休みを利用し、タイとベトナムに旅行 12月 【イベント】Coffee Hour Day 日本の文化紹介 Gala Night 留学生の卒業パーティー
2016年 1月～3月	1月 セメスター1 終了 長期休暇を利用し、オーストラリアへ旅行 2月 セメスター2 開始 【イベント】Chinese New Year 3月 チャイニーズオーケストラのミニコンサート KL&マラッカ旅行 【イベント】カンフーフエスタ
4月～7月	4月 中間休みを利用し、インドネシアとシンガポールへ旅行 5月 チャイニーズオーケストラの卒業パーティー 【イベント】Gala Night 6月 セメスター2 終了 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	日本を客観的に見てみたいと思ったからです。国際交流委員会で留学生サポートを行ってききましたが、留学生が日本で苦勞するであろうことを想像だけで判断することに限界を感じていました。なので、自分自身が留学生の立場になることで、これから増えていくであろう外国人のサポートをよりの確に行うことができるのではないかと思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力の向上はもちろん必要だと思いますが、私は日本の文化や社会、言語について渡航前に勉強した方が良かったと思っています。なぜなら、現地には日本に興味を持っている学生が大勢いて、さまざまな質問を投げかけてきます。現地の学生にとって私たち留学生は、日本のことなら何でも知っている人のように見られてしまいます。特に言語や文化に関する質問が非常に多かったです。英語力の向上に重きを置いてたために、日本語に対する知識が浅くなってしまったことを後悔しています。
この留学先を選んだ理由	多民族・多宗教国家であることに興味を持ったからです。マレーシアにはマレー系、中華系、インド系の民族が暮らしており、さまざまな宗教観を持った人々がいます。私は、このように異なった価値観を持つ人々がどのように共存しているかに関心を抱きました。どのような利点、問題点があるのか実際に自身で確かめて見たいと思いマレーシアを選びました。
大学・学生の雰囲気	これぞ多民族国家といった雰囲気です。マレー系の学生は露出を避けた服装で、頭にはスカーフを巻いています。その一方で、中華系の学生はショートパンツなど露出度が高めの服を、インド系は伝統的な衣装を着ていたり、キャンパスを歩いているだけでマレーシアらしさを見て感じることができます。性格はみな穏やかで、のんびりとした空気が漂っています。
寮の雰囲気	私は寮ではなく学外のコンドミニウムに滞在していましたが、大学までの距離が遠いことを除けば不自由なく暮らせる環境でした。プールとジムが利用できたので、運動も適度に行うことができました。コンドミニウムは一般の人も住んでいるところなので、学生以外の人の生活を見ることができました。宗教のイベントになると爆竹が至る所で鳴り、うるさいと感じることもしばしばありました。
交友関係	はじめのうちは、慣れない環境や課題の多さに圧倒され受け身の姿勢が多くなり、友達ができて深く付き合うことができませんでした。しかし、生活に慣れて余裕が出てくると、自分から積極的にごはんに誘ったり、旅行を計画したりとできるようになりました。私は、現地の学生と自分と同じ留学生の両方の友達がたくさんできました。どちらも、「旅」を共にしたことで距離がぐっと近づきました。
困ったこと、大変だったこと	一番困ったのが、トイレ環境の違いです。マレーシアにはホースを使う文化があり、常にトイレは水びだし、当然便座も濡れているので座れません。また、トイレトーパーが常備されていないので、自分で持ち歩かなければいけません。それに加えて、有料トイレや桶式のトイレなど日本とのものすごい違いを体験し、トイレを利用するたびに憂鬱な気分になりました。
学習内容・勉強について	私は、マレー語や中国語などの言語科目や ASEAN の文化や経済協定を中心に履修をしていました。どの授業の教授もマレー訛りの英語を話すので、はじめは聞き取れないことが多かったです。しかし、わからないことがあれば質問しやすい空気があり、教授も留学生のことをよく気にかけてくれました。言語科目に関しては実践的な内容のもので、スピーキングが重視されていたことが良かったと思いました。
課題・試験について	日本での学部の課題よりはるかに多い量の課題を出されました。私はエッセイの課題が多く、今まで書いたことのない長さのものに取り組みました。朝から閉館の時間まで図書館にこもり、文献を読んだりエッセイを書いたりしていました。試験は、論述形式のものが多く、授業をしっかりと理解していないと解けない問題でした。また、回答は英語で書かなければいけないのでここでも英語力が必要とされます。
大学外の活動について	チャイニーズオーケストラという中国の伝統楽器を演奏する音楽団体に所属していました。私は二胡という弦楽器のパートとして活動をしていました。部員の 9 割以上が中華系の学生で、使用言語が中国語でした。マレーシアにいながら中国の文化や言語に触れることができる貴重な機会となりました。現地の学生と深く交流ができ、たくさんの友人ができました。
留学を志す人へ	留学といえば、アメリカやカナダなどの欧米圏を思い浮かべる人が多いと思いますが、東南アジアもぜひ視野に入れて欲しいと思います。アジアの魅力は何といっても「人」にあります。生活の不便さは多少はありますが、人のあたたかさを感じることができます。私はたくさんの人に出会い、支えられ留学を終えることができました。気付けばかけがえない友人ができていました。今もこれからもアジアの国々との関係は続いていきます。そうした中で彼らの文化を知ることは将来役に立つと思います。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業		授業			
	授業	授業	授業	授業			
午後			授業	自習			
			授業	授業			
夕刻		チャイニーズオーケストラ		coffee hour			
夜		チャイニーズオーケストラ					